

船舶事故調査報告書

平成23年12月22日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 庄 司 邦 昭
 委員 石 川 敏 行

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成23年3月21日 08時50分～10時50分の間）
発生場所	不明（静岡県南伊豆町石廊崎沖～同県御前崎市御前崎沖の間）
事故調査の経過	平成23年5月19日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	貨物船 ^{まるい} 丸井丸、499トン 140763、丸井海運株式会社 74.20m×12.00m×7.37m、鋼 ディーゼル機関、1,471kW、平成20年3月
乗組員等に関する情報	船長 男性 61歳 五級海技士（航海） 免許年月日 昭和49年7月5日 免状交付年月日 平成21年3月19日 免状有効期間満了日 平成26年6月23日 二等航海士 男性 40歳 四級海技士（航海） 免許年月日 平成10年6月23日 免状交付年月日 平成20年6月17日 免状有効期間満了日 平成25年6月22日
死傷者等	死亡 1人（二等航海士）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長ほか5人が乗り組み、静岡県下田市爪木崎沖で荒天避難していたが、平成23年3月21日06時00分ごろ出航し、石廊崎沖から御前崎沖に至る海域を西進中、08時50分ごろ、船内通路を歩いている二等航海士を機関長が見掛けた。 船長は、二等航海士が10時30分からの当直交代に昇橋しないので船内を捜索したが発見できず、10時50分ごろ、落水したものと判断した。 本船は、船長が、代理店、海上保安庁等に連絡するとともに、GPSの航跡をたどって捜索を行ったが、二等航海士を発見することができず、静岡県静岡市清水港へ入港した。 二等航海士は、平成23年4月14日静岡市所在の清水灯台から真方位055°12,850m付近の海上で発見されたが、死亡が確認され、死因は溺水と検案された。
気象・海象	気象：天気 雨、風向 南西、風力 5、視界 良好

	<p>海象：波高 約3m 駿河湾に強風・波浪注意報が発表されていた。</p>	
その他の事項	<p>二等航海士には、心身面での不調等は見受けられなかった。 居住区から外甲板に出る際に使用する乗組員共用のサンダルが紛失していた。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明 なし 不明</p> <p>二等航海士の死因は、溺水であった。 本船は、石廊崎沖から御前崎沖の間を西進中、二等航海士が、08時50分ごろ船内通路を歩いているところを目撃されたのち、船内捜索を行っても発見できなかったため10時50分ごろ船長が落水したものと判断したことから、この間において、二等航海士が落水したものと考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。 二等航海士は、落水して溺水したものと考えられるが、溺水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が石廊崎沖から御前崎沖の間を西進中、二等航海士が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>	